



Australia Japan
Society Victoria

AUSTRALIA-JAPAN SOCIETY OF VICTORIA

Level 2, 99 Queen Street Melbourne VIC 3000

ABN 67 443 664 013

Phone: +61 3 9642 2125 Email: office@ajs victoria.org.au

益川 結子 (ますかわ ゆいこ) —メルボルン・シティ・バレエ団

(**このインタビュー記事は2015年11月にまとめられたものです。よって、記事内の「来年」とは2016年のこととなります。)

出身は大阪です。

3歳から近所のバレエスクールでバレエを始めました。

バレエを始めたきっかけは、バレエスクールを通るたびに母に私も一緒に踊りたいと毎回言っていたようです。

始めた頃、弟が生まれ弟が病気の時など母が私とバレエについていけない時があったのですがそれでも行くと一人でクマのぬいぐるみと歩いて行っていたそうです。

バレエの魅力は、私から(踊る側)すると舞台上に立って役を演じている時の達成感。あと、日々のクラスで努力している時に新しい事に気付く時。毎日が勉強です。

普段気をつけていることは、いろいろな事に興味を持つこと。バレエを毎日していると、バレエ一色の生活になりがちなのですがそれだけではなく、いろいろな事に興味を持ちたいです。

人生経験は、バレエで色々な役を演じる際にも必要になってくると思います。

自分に最も影響を与えた人物は、森下洋子さんです。

小さい頃からずっとファンでした。彼女が海外で踊られるようになってから日本のバレエ界は変わったと思います。

驚く秘密は、バレリーナといえばあまり食べないと言いますが私はよく食べます。特に甘いもの。

その代わりにジムに行きます。笑

一番好きな食べ物は、はまちのお寿司やお刺身。大好きです。



Australia Japan
Society Victoria

AUSTRALIA-JAPAN SOCIETY OF VICTORIA

Level 2, 99 Queen Street Melbourne VIC 3000

ABN 67 443 664 013

Phone: +61 3 9642 2125 Email: office@ajs victoria.org.au

今一番欲しいものは、ホリデイです。待ちきれません！

これがなしでは生きていけないものは、パートナーのサムです。彼にいつも助けられています。彼とは来年の4月に日本で結婚式を挙げます。

最も感動した出来事は、今年親友の結婚式に日本へ帰った時です。彼女とは、日本でずっと一緒に辛い時も楽しいときもバレエを頑張ってきた仲間なので特別でした。

メルボルンへは2011年にパースから移りました。

パースでは、2年間 West Australian Academy Of Arts(WAAPA)で勉強しました。

私はそこで、ダンスを学んだのですが学校内でも日本人は1人だけだったので徹底的に英語を学ぶ環境でした。ダンスだけではなく、論文を書いたりもしなければいけなかったので友達や先生にすごく助けられました。

そこで、オーストラリアに長く住みたいという思いが大きくなりました。

メルボルンへ移ったきっかけは、卒業後これからどうしようと考えていた際にメルボルンに先に住んでいた友達がパースよりメルボルンの方が踊る機会があるよと言ってくれたので、一年メルボルンで頑張ってみてダメだったら日本へ戻ろうと考えていました。

ダンサーとしての仕事がもらえるようになり、永住権もとれたので今はメルボルンに5年目です。

バレエ団を選んだ理由。

Melbourne City Ballet 団が始まる前から監督のマイケルと私は一緒に踊っていて、二人でオーストラリアにはたくさん才能があるダンサーがいるのにバレエ団が少ない事についていつも話していました。私は、彼が新しいカンパニーを作った旗揚げ時からずっと仕事を共にしています。彼は、良い友達でもあり尊敬する上司です。



Australia Japan
Society Victoria

AUSTRALIA-JAPAN SOCIETY OF VICTORIA

Level 2, 99 Queen Street Melbourne VIC 3000

ABN 67 443 664 013

Phone: +61 3 9642 2125 Email: office@ajs victoria.org.au

メルボルンの印象は、街がとてもマルチカルチャーなのであまり私が”外人”という意識をもたなくても生活できます。 レストランで外食するときにも本格的な各国々の料理を堪能することができます。 あと、一年の間にダンスフェスティバル、ファッションフェスティバルその他にも食べ物やワインのフェスティバルそしてスポーツ。いつも賑やかな街だと思います。

メルボルンでしたいことは、日本の家族を色々などこへ連れて行きたいです。 オーストラリア人ダンサーの印象は、感情の表し方が舞台でも普段でも上手だと思います。

日本人は、普段の生活でもあまり感情を表さない分舞台にもそれが出ているんじゃないかなと思いました。

メッセージ

Melbourne City Ballet はまだ新しいバレエ団なのであまり多くの方々に知られていませんが、これからどんどんパワーアップしていく注目のバレエ団です。

来年私たちは ナポリ、ロメオとジュリエット、ドラキュラそして蝶々夫人とすばらしい演目を踊ります。

バレエをよく知っている方も、見たことのない方も是非舞台に足を運んでください。

プロフィール 益川 結子

3歳より佐々木美智子バレエスタジオでバレエを始める。

その後岡本博雄、岡本範子、広地克江、半沢正司に師事。

2006年北京インターナショナルコンペティションに招待される。

その後 Vancouver Goh Ballet School, Boston Ballet School, Los Angeles Ballet で二年間勉強。

2008年オーストラリアに移り、Western Australian Academy of Performing Arts に飛び級入学。

卒業後パースからメルボルンに拠点を移し、Opera Australia, Tasmanian Ballet フリーランスで活躍。

2012年以降コンテンポラリーダンスにも強い興味を持ち、韓国の劇団 Nettle Theatre



Australia Japan
Society Victoria

AUSTRALIA-JAPAN SOCIETY OF VICTORIA

Level 2, 99 Queen Street Melbourne VIC 3000

ABN 67 443 664 013

Phone: +61 3 9642 2125 Email: office@ajsvictoria.org.au

とコラボレーションした作品をソウルで発表。マレーシアの **Melaka Festival** で自作の作品を発表。

2013年以降、Melbourne City Ballet のプリンシパルとして活躍している。